

「第5期消費者基本計画(素案)」に関する意見

意見 No.	氏名 ・ 法人名	計画(案)対象箇所 (プルダウンリストから選 択してください。)			意見 (複数の箇所に御意見のある場合などは分けて記載いただき、1行につき1意見を記載してください。)
		ページ 番号	行 番号	章	
1	東京消費者 団体連絡セ ンター	2	1		第5期消費者基本計画は決定から3年目を目途に中間点検を行い、取組については不断の見直しを行っていく。」としていますが、第4期消費者基本計画において、毎年度行ってきた検証・評価・監視は行わないのでしょうか。消費者基本計画は、国、地方公共団体及び事業者の責務を明らかにし、各主体が行う施策の基本となる事項を定めることによって、消費者の利益の擁護及び増進に関する総合的な施策の推進を図り、国民の消費生活の安定及び向上を確保することを目的としています。消費者を取り巻く環境変化に柔軟に対応していくために、毎年度ごとの検証・評価・監視を行い、適切な取組の見直しを行う必要があると考えます。
2	東京消費者 団体連絡セ ンター	12	15	第2章	「現実の消費者が様々な脆弱性を有するという認識を消費者政策や消費者法制度の基盤に置き、そのような多様な消費者が安心して安全に取引に参画することを可能にする環境の整備を図ること。」とあります。しかし、消費者と事業者の間には情報量や交渉力の格差があることも否めません。消費者の脆弱性と消費者と事業者間の格差を前提とした環境の整備の強化を求めます。
3	東京消費者 団体連絡セ ンター	19	15	第2章	④カスタマーハラスメント対策に関する記述は評価できます。国の法律や東京都の条例が施行されカスタマーハラスメントがなくなる社会とするためには、「消費者が正当な意見を伝える適切な方法を習得することで、消費者の声は事業者を受け止められ、消費者と事業者双方の信頼関係が構築され、持続可能な消費の基盤となる」とあります。このことを消費者と事業者にも周知し、理解を促進することも明記してください。
4	東京消費者 団体連絡セ ンター	24	14	第3章	「複雑化・多様化及び高度化する消費者問題に的確に対応するため、消費生活相談員や消費者行政を担当する行政職員のレベルアップの促進が重要である」の認識にそった研修が実施されることを期待します。その上で、デジタルを悪用した悪質商法等、複雑化し解決困難な相談に対応するための専門的知識を習得できる研修について明記してください。
5	東京消費者 団体連絡セ ンター	24	30	第3章	「消費者にとって身近な消費生活相談体制を維持・強化していくために必要な消費生活相談の担い手確保が深刻な課題となっている。このため、消費生活相談員の養成のための取組を強化する」とありますが、待遇改善が喫緊の課題だと考えます。相談員の国家試験に合格しても地方公共団体の募集に応募が少ない現実を解決するために相談員の待遇改善の抜本的な方策を検討するべきです。
6	東京消費者 団体連絡セ ンター	28	3	第3章	「消費者を取り巻く環境の変化によって消費者の関心・問題意識は多様化しており、消費者政策は幅広い分野に関わることから、特定分野で活動を行う団体も含め、その自主的な取組が期待され、行政はこうした取組を支援・強化する」という記述は消費者団体として期待するところです。ぜひ、具体的施策を記述してください。
7	東京消費者 団体連絡セ ンター	39	28	第4章	消費者の生命・身体に係る消費者事故等の発生・拡大防止に向けた取組は、消費者への注意喚起の強化が必要ですが、加えて、事業者が製品等の改善を図ることも欠かせません。事故情報を製品等の改善につなげていくことを取組に明記してください。また、今回の計画素案では、海外の法制の動向やデジタル化の影響について調査・研究することを記載しています。調査研究成果をもとに30年間改正されていない製造物責任法の改正を検討することを明記してください。
8	東京消費者 団体連絡セ ンター	44	32	第4章	屋根工事や給湯器の点検商法などの訪問販売や電話勧誘販売による消費者被害、詐欺商法の勧誘手段としてのマルチ商法による若野の消費者被害など消費者トラブルの件数は高止まりとなっています。「法令に違反する事実がある事業者に対し、法執行の強化に取り組んでいくとともに、事業者団体等に対し、法令遵守の徹底等の自主的な取組をうながしていく」という施策を進めていくとしても、悪質事業者が事業を断念していくとは考えられません。特に高齢者や若者の消費者被害を未然に防ぐために特商法の改正が必要であると考えます。特商法改正の検討方針を明記するべきです。
9	東京消費者 団体連絡セ ンター	47	16	第4章	今回の基本計画素案では食品表示に関する記述が足りていません。今後5年間でフードテックの開発が進んでいくと思われまます。フードテック食品であるゲノム編集応用食品の安全性に懸念をもっている消費者が少なくありません。消費者の商品選択に資する表示について加筆してください。